



ホームステイ編

ホストファミリーと過ごした素敵な10日間!



いわだて ようこ
岩館 瑠子 (小野田中学校 3年)

私のホストファミリーは、とてもフレンドリー。私の未熟な英語を一生懸命に理解しようとしてくれたおかげで、英語を話す時に失敗を恐れていた気持ちよりも、伝えたい気持ちが勝つようになりました。こんな理想的な家族がもう一つの家になり、本当に幸せです。もっと英語を勉強して成長し、海外でも通用するような人になりたいです。



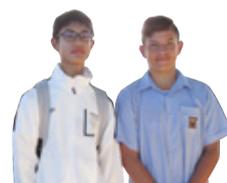
かねこ みゆ
金子 瑞優 (高千帆中学校 3年)

初めのころは、聞きとれる単語だけを必死に聞き逃さないようにして、全体をなんとなく聞いていました。でも、何日か経つと頭の中で日本語に置き換えなくても、ほとんど聞きとることができるようになりました。自分に自信が持てて、積極的に質問できるようになると、本当に楽しくて、後半はあっという間に時間が過ぎていきました。



ひろなか たいち
廣中 太一 (厚陽中学校 2年)

オーストラリアと日本では、文化や風習の違いがあり、シャワーの時間が10分だったり、買い物は1週間に1度で済ませたり、ホストファミリーの友だちが急に泊まりに来たりして驚くこともありました!初めて知ることだらけで楽しかったです。休日はラグビーの試合を観に行ったり、ビーチに遊びに行ったり、充実した時間を過ごせました。



まきの なつみ
牧野 夏実 (埴生中学校 3年)

勇気を出して挑戦したホームステイ。自分自身を変える大きな一歩となりました。ホストマザーは日本人でしたが、日本語に頼らず英語で話しました。休日はホストファミリーと習字や折り紙をして、日本の文化を伝えることができました。ホームステイをした時の好奇心やチャレンジ精神を大切にして、たくさんの方に挑戦したいです。



学校編

明るくフレンドリーなみんなと交流!



あおき ゆうだい
青木 勇大 (竜王中学校 3年)

日本では、まだ必修化されていないプログラミングの授業がありました。また、1回の授業・休憩時間や1クラスの人数が自分たちと違い、とても驚きました。小学校でも、ランチタイムが2回あるなど、大きな違いがありました。日本より1年早く小学校教育が始まることは現地に行かなければ分からず、文化の違いは学校の教育方針に大きく関係があるんだと思いました。



あしざわ さき
芦沢 咲月 (小野田中学校 2年)

ハイスクールでは、主に日本語の授業でグループ活動をしました。いつもゆっくり教えてくれて、生徒のみんなの優しさを感じました。小学校に行くと、「コンニチワ」とあいさつをしてくれました。休み時間に鬼ごっこをして、言葉が通じなくても自然と笑顔になって遊びました。短い時間でしたが、たくさんの人と仲良くなれました。



いわた まゆこ
岩田 真由子 (厚狭中学校 3年)

私はホームステイ先のバディとハイスクールのバディが2人いました。ハイスクールのバディは、学校でしか会えなかったけど、すれ違うたびに手を振ってくれ、時間のあふるときはたくさん話しかけてくれました。バディとは帰国した今でも、毎日連絡を取り合う仲。仲の良さで過ごした時間は関係ないと感じました。また、何事も自ら積極的に取り組むことが大切だと思いました。



かわぐち はるか
河口 春伽 (高千帆中学校 3年)

私が感じたオーストラリアと日本の学校の違いは2つあります。1つ目は、学校にいる時間。日本は約9時間ですが、オーストラリアは約7時間。部活動はなく、スポーツをする人はクラブチーム。2つ目は、授業の方法。日本では、ノートにペンを持って勉強をしますが、オーストラリアでは、幼稚園児もiPadなどの電子機器を使って勉強していることに驚きました。

